

令和3年度

全国学力・学習状況調査の結果概要

■調査の目的

義務教育の水準を維持向上するため、教育の成果や課題を検証し、改善を図ることを目的にして実施しています。

■調査の概要

○実施日 令和3年5月27日(木)

○参加状況

小学校6年生27名
中学校3年生28名

○実施内容

①教科に関する調査

国語・算数・数学

②質問紙調査

生活習慣・学習習慣など

○結果の公表方法

教科に関する調査の結果は、平均正答率の全国・全道平均と清里町との差を数字ではなく言葉で表現しています。



■教科に関する調査の結果

○小学校6年生

国語・算数ともに全道全国平均より低い状況で、特に国語全般と算数の「数と計算」「図形」の分野に課題が見られます。

○中学校3年生

国語は全道全国平均を上回り、数学は全道全国平均とほぼ同じ状況で、特に国語の「書くこと」「読むこと」の分野は全国平均を大きく上回っています。しかし、数学の「資料の活用」分野にやや課題がみられます。

■質問紙調査の結果

傾向として、小学生は自己有用感や目標を持って挑戦しようとする意欲が高くなっています。中学生は計画的に学習するなど、家庭学習の習慣がしっかりと定着しています。

■これからの取組みとお願い

学習については、引き続き各種支援員を配置したきめ細かな指導を行っていくとともに、課題のある分野の克服のため

に、ICT機器を活用しながら授業の改善を図っていきます。

保護者の皆さんには、家庭における学習や読書習慣の定着、ゲーム機やインターネットなどの各種メディアの適切な利用についてご指導ください。

地域の皆さんには、引き続き学校運営に対するご支援のほか、通学路や公園など地域における日常的な子どもたちの見守りなどをお願いします。

■平均正答率の全道・全国との比較 (%)

	小学校6年生		中学校3年生	
	国語	算数	国語	数学
全国	64.7	70.2	64.6	57.2
清里	低い	低い	高い	ほぼ同じ
全道	63.2	67.5	64.5	55.9
清里	低い	低い	高い	ほぼ同じ

■質問紙調査の主な特徴的な結果 (全国との比較・一部抜粋)

小学校6年生	
[全国平均と比較して好ましいと考えられるもの]	
○自分にはよいところがあると思っている児童の割合が高い	
○将来の夢や目標を持っている児童の割合が高い	
○家で、自分で計画を立てて勉強をしている児童の割合が高い	
○今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合が高い	
[全国平均と比較して課題と考えられるもの]	
○授業以外に1日当たりに30分以上読書をする児童の割合が少し低い	
中学校3年生	
[全国平均と比較して好ましいと考えられるもの]	
○普段、1日当たりのゲーム時間が2時間未満である生徒の割合が高い	
○家で、自分で計画を立てて勉強をしている生徒の割合が高い	
○授業以外に、普段1日当たりの勉強時間が1時間以上である生徒の割合が高い	
[全国平均と比較して課題と考えられるもの]	
○毎日同じくらいの時刻に寝ている生徒の割合が少し低い	
○自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができている生徒の割合が少し低い	

■詳細

生涯学習課学校教育グループ

☎25-2139

文部科学省が毎年実施する「全国学力・学習状況調査」が2年ぶりに実施され(昨年度は新型コロナウイルスの影響により中止)、このたび結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

